みどり水土里ネット

山王海

広報　第107号
発行　平成22年４月１日

豊かな水を求めて

山王海ダム、葛丸ダムともに満水に達することができ、春の灌漑用水期を前に、組合員の皆様にとりましても、安心して農作業を始めることができるものと思います。

日増しに、晴れた日は日差しが強くなってきましたが、何か、いつもとは違った春を感じている方々もいるのではないかと思います。

稲作農家にとりましては、地球温暖化と思われる最近の天候不順は気になりますが、やはり、出来秋には平年並み以上の収穫を期待したいものです。

三月十六日には滝名川漁業組合（紫波町管内）主催により十八回目となります鮭の稚魚放流が行われました。

地元の幼稚園児、保育園児を対象として行われているものですが、平成二十年、二十一年と約六十年ぶりに遡上産卵が確認されております。

灌漑用水の潤沢な確保のためだけでなく、大雨の際の洪水調整、有事の際の水源等、ダムの果たす多面的な役割について、地域住民へ引き続き啓蒙していきたいと思います。

土地改良区の概要

平成22年
４月１日現在

受益面積
3,830 ha

組合員数
2,872 名

通常総代会挨拶

山王海土地改良区
理事長　高橋公一

平成二十一年度通常総代会を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

ご来賓として年度末を迎え、公務ご多端のところ藤原紫波町長さんはじめ盛岡地方振興局伊藤農村整備室長さん、矢巾町橘副町長さん、花巻市八重樫農地林務課長さんのご臨席を賜わり誠にありがとうございます。皆様方には、日頃より当土地改良区に特段のご支援とご協力を賜り、衷心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。又、総代各位におかれましては、常日頃業務運営と事業推進にご理解とご協力を賜り感謝申し上げる次第であります。

さて、来年度より米の戸別所得補償モデル事業が始まり、平成二十三年度には、戸別所得補償制度に一本化され、食糧自給率を十年後に五十％を目指すとされています。その為には農地を余す事無く活用する事が大切であります。水田には洪水防止機能や水源涵養機能、生物多様性の保全など多くの機能が備わっております。農業・農村整備事業と農業経営を支援する戸別補償制度とが一体的に展開されることで、低コスト生産や担い手の利用集積、食糧自給力の確保が達成されると思っております。

国営山王海農業水利事業で築造された葛丸ダムが完成してから、はや十九年となり、現在は県より管理委託を受けております。その堰堤下流にあります放流バルブ室の背面より巨大な落石があり、危うくバルブ室が壊されるところでありました。さらに取水施設を保護する網場アンカーブロックの基礎部分が崩落し、危険性が増しその対策について国や県に早期の補修工事を要望し、この程県のご配慮により「土地改良施設危機管理設備強化事業」の地域活性化「きめ細かな臨時交付金」で、法面保護対策を実施することとなりました。又、この事業は全額国費で実施され、地元負担を伴わないことになり、国や県の特段のご高配に感謝を申し上げる次第であります。

次に現在実施している事業について申し上げます。農家負担軽減事業として「土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業」があります。この事業は、土地改良事業による受益者負担金の償還中の地域が対象とされ、負担金の利子助成を行う事業で、平成二十一年度より平成二十三年度迄の三ヶ年の助成期間で、当管内では、国営かんがい排水事業と県営ほ場整備事業の水分、水分第二、赤石第一、赤石第二、紫波中央、上平沢地区が対象となります。三ヵ年の総額は三億六千六百万円余りとなり、農業経済の厳しい折大きな負担軽減になると思っております。

県営事業につきましては、花巻市管内の中寺林地区が計画どおり平成二十二年度で完了となりますが、紫波町管内の南日詰地区は、暗渠排水工事、補完工事等の面的工事は平成二十二年度で完了いたしますが、換地処分は平成二十三年度の予定になります。今後とも組合員、関係機関のご支援とご協力をお願い申し上げます。

維持管理事業につきましては、八水利調整組合より十二件の申請があり、事業費で七百七十六万円で実施することといたしております。尚、農地・水・環境保全向上対策で対応可能な補修工事については、農家負担軽減のためにも積極的に各活動組織で実施して頂くよう、指導いたしております。

平成十二年度から実施しております、管理体制整備促進事業の二期目が今年度で終了となることから、事業継続を国に強く要望申し上げた結果、引き続き三期目の拡充として、平成二十二年度より五カ年実施することになりました。この事業においては、幹線水路等の維持管理や清掃管理に対する支援を受けるとともに地域住民との連携を密にし、協働管理の必要性を啓蒙しながら維持管理の強化に努めて参ります。

次に、未納賦課金の徴収についてでございますが、農業情勢の厳しい状況の中で滞納者も増加いたしております。徴収に当っては滞納金検討会と一体となって、役職員が臨戸訪問し徴収いたしております。又滞納者への徴収相談や滞納処分を実施し、解消に努めて参りますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

両ダムの貯水状況を申し上げます。四月十五日に満水計画を立てておりましたが、融雪や雨量も多く山王海ダムが三月十九日満水溢流となり、葛丸ダムは間もなく満水となります。今後は溢流水で水路の清掃管理を行い、本格的な配水に支障の無い様万全を期して参ります。

来年度に向けて、事務局機構の一部見直しを致しました。総務課企画係を廃止し、その分掌事務を庶務係に移行致します。これに伴い二課六係制となり、事務の効率化を図って参ります。

本日ご提案申し上げております案件は、第七号議案から第二十四号議案の十八議案であります。どうか慎重にご審議を頂き原案どおりご承認賜りますようお願い申し上げます。

終わりにこれからの農業、農村を取り巻く環境は決して安易なものではなく、益々厳しいものとなります。新たな事業制度を取り入れ、常に組合員や関係機関とともに連携を取り、負担軽減になるよう鋭意努力して参る所存であります。どうかご指導とご支援をお願い申し上げまして挨拶と致します。

平成二十一年度 通常総代会開催

平成二十二年三月二十六日開催

平成二十一年度第二次補正予算 平成二十二年度予算他を決定

平成二十一年度通常総代会は、去る三月二十六日（金）午前九時より当土地改良区二階会議室において開催されました。

総代現員五十名中四十六名出席のもと、来賓に紫波町長藤原孝様、盛岡地方振興局農政部農村整備室長伊藤日出輝様、矢巾町副町長橘誠様、花巻市農林水産部農地林務課長八重樫明夫様を迎え、高橋理事長挨拶、来賓祝辞ののち、議長に板垣正博総代（石鳥谷地区）が選出され、山王海土地改良区規約の一部改正について他十七議案が審議され、提出された全議案が満場により原案どおり可決承認されました。

提出議案は次のとおりです。

〔決定された提出議案〕

第七号議案　山王海土地改良区規約の一部改正について

第八号議案　規約第五十五条に係る農地転用の承認について

第九号議案　土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業の実施について

議長を務めた板垣正博総代

第十号議案　農地有効利用支援整備事業の実施について

第十一号議案　平成二十一年度特別会計収入支出予算について

第十二号議案　平成二十一年度一般会計収入支出第二次補正予算について

第十三号議案　平成二十一年度特別会計収入支出第二次補正予算について

第十四号議案　規約第四十一条の規定による金銭預入先決定について

第十五号議案　賦課金の徴収について（一般会計）

第十六号議案　長期借入について（一般会計）

第十七号議案　水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入について

第十八号議案　平成二十二年度一般会計収入支出予算について

第十九号議案　一時借入について

第二十号議案　賦課金の徴収について（特別会計）

第二十一号議案　平成二十二年度特別会計収入支出予算について

第二十二号議　平成二十二年度組合員資格喪失による決済額の決定について

第二十三号議案　平成二十二年度県営事業工事費繰上償還金額の決定について

第二十四号議案　転用農用地に対する賦課金の徴収について

質問を述べる小田中英世総代

会議開催状況

平成二十一年十一月一日～
平成二十二年三月三十一日

『理事会』

◆平成二十一年十二月十七日
平成二十一年度維持管理事業の変更契約について

◆平成二十二年一月二十二日
平成二十二年度基本計画並びに予算骨子（案）について
他九案件

◆平成二十二年二月二十四日
山王海土地改良区処務規程の一部改正について　他六案件

◆平成二十二年三月十五日
答申書について（水利委員会）
他四案件

◆平成二十二年三月二十九日
職員人事について

『監事会』

◆平成二十一年十一月六日
植林地監査

◆平成二十一年十二月十七日
会計監査

◆平成二十二年一月二十六日
総合監査の日程について
総合監査

◆平成二十二年二月二日・三日
総合監査

◆平成二十二年三月十七日
現場監査

理事選挙について

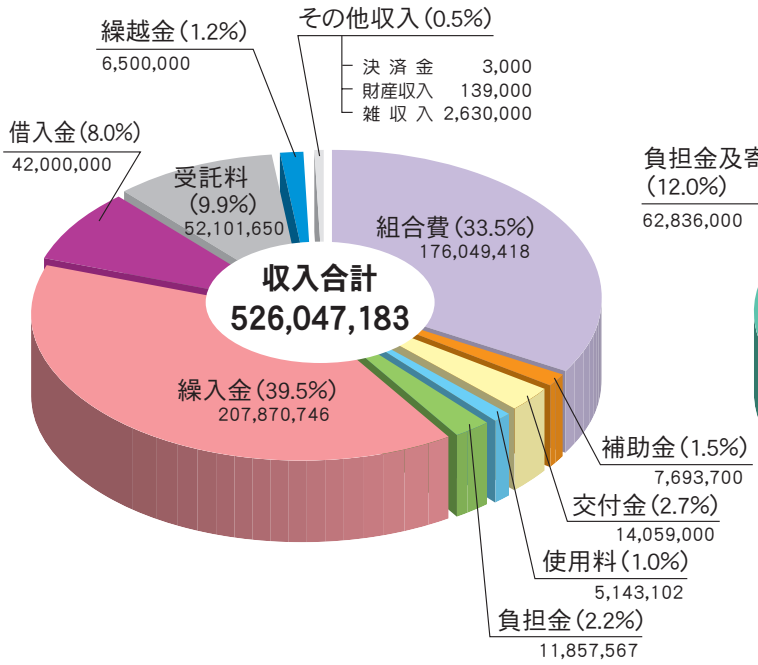
平成二十二年八月十九日任期満了となる、理事の選挙が実施されます。

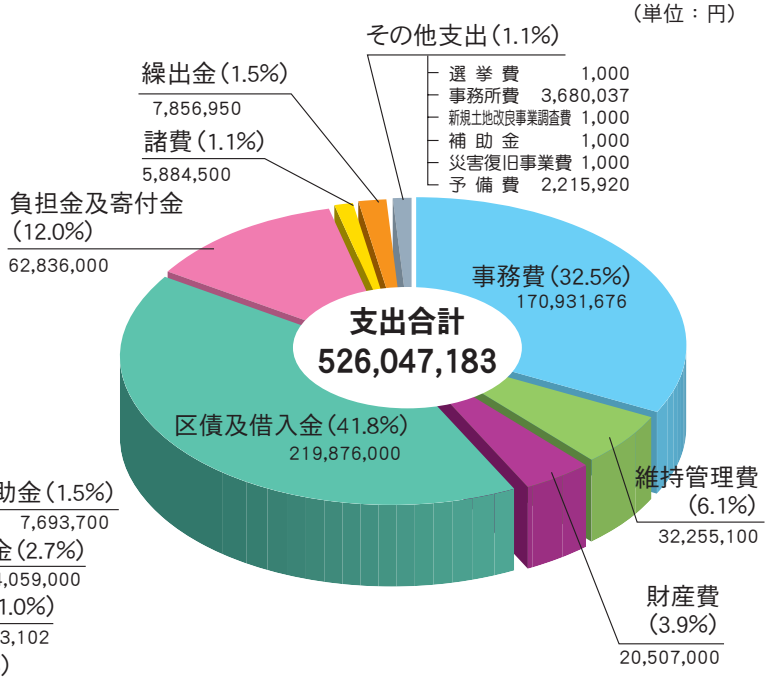
理事は土地改良区運営の重要な責務を担っており、理事の選挙は総代により総代会において選挙されます。

理事の定数は七名です。

平成22年度一般会計収入支出予算の概要

（単位：円）





平成22年度特別会計収入支出予算の概要

（単位：千円）

項目 / 地区名	収入の部						支出の部					
	賦課金	雑収入	繰入金	その他	繰越金	計	繰出金	管理費	諸費	その他	予備費	計
償還会計	1,476	125	88	決済金 1	1,000	2,690	55		30	借入金 1,520	1,085	2,690
南野原県ぽ	488	11			300	799	146	320	30		303	799
山王海県ぽ(51)		31			500	531	500		2		29	531
水分県ぽ	8,673	510			21,950	31,133	11,578		30		19,525	31,133
水分第二県ぽ	3,726	204			7,810	11,740	3,444	200	10		8,086	11,740
赤石第一県ぽ	13,240	306			23,850	37,396	7,135	1,000	50	償還金 4,839	24,372	37,396
赤石第二県ぽ	23,874	510			1,500	25,884	22,211	1,080	30		2,563	25,884
紫波中央県ぽ	5,930	204			3,000	9,134	5,732	400	20		2,982	9,134
上平沢県ぽ	6,690	102	12,000		800	19,592	18,533	250	20		789	19,592
土舘県ぽ	8,761	102	4,300		400	13,563	12,512	440	20		591	13,563
宮手稲藤県ぽ	8,057	102			1,000	9,159	8,582	250	30		297	9,159
上台大下通県ぽ	3,568	2	600		100	4,270	3,868	150	20		232	4,270
八幡東部県ぽ	6,111	204			600	6,915	5,733	350	30		802	6,915
南日詰県ぽ	10,968	102			300	11,370	10,204	350	270		546	11,370
県営土地総黒西	5,975	102			2,000	8,077	5,647	630	20		1,780	8,077
県営土地総南寺林	4,332	102			1,000	5,434	3,596	510	10		1,318	5,434
県営土地総中寺林	5,694	51			500	6,245	5,160	200	220		665	6,245
維持管理事業			7,769			7,769	7,769					7,769
土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業	助成金 120,840	1				120,841	120,840		1			120,841

平成22年度　賦課金

会計区分	地区名		10アール当り金額(円)
一般会計	経常賦課金		4,500
	維持管理事業費(前年度事業の地元負担分)		
	中央幹線		280
	南幹線上流部		250
	志和地区南部		280
	葛丸上堰		300
	農地有効利用支援整備事業費(前年度事業の地元負担分)		
	八幡2区		110
	石鳥谷1・2区		670
	石鳥谷1・4区		70
特別会計	県営事業		
	水分県ぼ		3,000
	水分第二県ぼ		6,000
	赤石第一県ぼ(第一工区)		3,500
	赤石第一県ぼ(第二工区)		14,000
	赤石第二県ぼ		11,500
	紫波中央県ぼ		5,000
	上平沢県ぼ		5,000
	土舘県ぼ		5,500
	宮手稲藤県ぼ		3,500
	南野原県ぼ		200
	上台大下通県ぼ		8,000
	八幡東部県ぼ		6,000
	八幡東部県ぼ(パイプライン)		2,600
	南日詰県ぼ		12,000
	土地総黒西	一般	7,600
		暗渠(A)	8,600
		暗渠(B)	9,600
	土地総南寺林	一般	6,000
		暗渠(A)	7,000
		暗渠(B)	8,000
	土地総中寺林		5,700
	団体営事業		
	大瀬川西部地区	暗渠(1)	2,100
		暗渠(2)	2,700
		暗渠(3)	4,700
	岩清水	一般	6,900
		暗渠	1,300

※賦課金軽減地区

特別会計賦課が変わります！

納入期限　11月30日➡12月27日

賦課反当金額　新規事業により大幅に減額

(詳細は7ページをご覧ください。)

平成22年度　決済金

会計区分	地区名		10アール当り金額(円)
一般会計	維持管理事業決済金		40,200
	県営事業分担金決済金		1,900
	国営事業負担金決済金		52,000
	合計		94,100
特別会計	水分県ぼ	56上松本	2,990
		57焼野・吉水	8,855
		58吉水・岩清水	14,435
		59上松本	20,965
		60宮手	27,495
		61小黒沢	35,925
		62南伝法寺	44,355
	水分第二県ぼ		30,409
	赤石第一県ぼ(第一工区)		26,132
	赤石第一県ぼ(第二工区)		80,271
	赤石第二県ぼ		72,892
	紫波中央県ぼ		54,894
	上平沢県ぼ		50,018
	土舘県ぼ		7,529
	宮手稲藤県ぼ		13,196
	上台大下通県ぼ		40,690
	八幡東部県ぼ		32,443
	八幡東部県ぼ(パイプライン)		26,000
	県営土地総黒西	一般	59,654
		暗渠(A)	69,982
		暗渠(B)	79,981
	県営土地総南寺林	一般	52,068
		暗渠(A)	67,907
		暗渠(B)	77,907
	大瀬川西部地区	暗渠(1)	7,011
		暗渠(2)	8,968
		暗渠(3)	16,328
	岩清水	一般	64,961
		暗渠	13,000

平成22年度 県営事業繰上償還金

(平成22年度賦課金納入後適用)

地区名		10アール当り金額(円)
水分県ぼ	56上松本	3,230
	57焼野・吉水	9,215
	58吉水・岩清水	14,915
	59上松本	21,565
	60宮手	28,215
	61小黒沢	36,765
	62南伝法寺	45,315
水分第二県ぼ		33,929
赤石第一県ぼ(第一工区)		30,692
赤石第一県ぼ(第二工区)		85,071
赤石第二県ぼ		78,562
紫波中央県ぼ		59,034

地区名		10アール当り金額(円)
上平沢県ぼ		52,808
土舘県ぼ		8,699
宮手稲藤県ぼ		14,576
上台大下通県ぼ		44,610
八幡東部県ぼ		37,613
八幡東部県ぼ(パイプライン)		26,000
県営土地総黒西	一般	68,954
	暗渠(A)	79,382
	暗渠(B)	104,081
県営土地総南寺林	一般	60,768
	暗渠(A)	76,707
	暗渠(B)	87,007

納入期限

一般会計　前期 4月30日(金)　後期 11月1日(月)

口座振替日　前期 4月23日(金)　後期 10月22日(金)

平成22年度　土地改良事業

単位：千円

区分	事　業　名	地区名	工　期	事　業　内　容	事　業　費
県営	経営体育成基盤整備事業	南日詰	H12～H23	暗渠排水工2.0ha、道路・用排水工仕上げ、補完工事	100,000
		中寺林	H12～H22	暗渠排水工32ha、補完工事	117,000
	基幹水利施設管理事業	山王海	H8～	山王海ダム、葛丸ダム、稲荷頭首工、葛丸頭首工の施設管理費等	50,815
団体営	農業用水水源地域保全対策事業	山王海	H20～H24	パンフレット作成、体験学習開催、案内板設置	1,809

《 維持管理事業 》

単位：円

件　名	組　合　名	事　業　内　容	事　業　費
1　号	中　央　幹　線	水門製作設置１ヶ所	525,000
2　号	平　　沢	排水路補修１ヶ所、堆砂対策・安全対策一式	2,047,500
3　号	中央幹線赤石	制水弁改修４ヶ所	798,000
4　号	南幹線上流部	スクリーン設置一式	336,000
5　号	志和地区南部	水門補修１ヶ所	315,000
6　号	片　寄　犬　渕	排水路補修２ヶ所、用水管補修１ヶ所	1,793,400
7　号	葛　丸　上　堰	用水路装工１ヶ所、用排水路装工１ヶ所	1,345,050
8　号	山王海大興寺	用排水路補修１ヶ所	609,000
合　　計			7,768,950

葛丸ダム関係の法面保護対策について －土地改良施設危機管理設備強化事業－

平成３年度、国営農業水利事業により完成した葛丸ダムにおいて、網場アンカーブロック基礎部分が洗掘され（写真左側）、他にも放流バルブ室の背面法面からの落石があり（写真右側）、危険な状況となっております。

網場は、ダム湖面に流れ込んだ流木等が取水塔に近寄らないよう、網をフロートで浮かせて、防塵の役目をしており、その網は両岸のアンカーブロックで固定していますが、長年の風化侵食と水位によって網場が動き、法面が洗掘され基礎部分が現れたものと考えられますが、このまま放置すると崩落の危険性があり、道路にも被害が及ぶ可能性があります。

【放流バルブ室背面からの落石】

【右岸の網場アンカーブロック基礎】

又、堰提下流左岸にある放流バルブ室は、ダムから取水した農業用水をこの施設で調整して葛丸川に放流する重要な施設でありますが、このバルブ室の背面の法面には岩盤があり、平成18年の春先に大きな岩が落ちて、あわやバルブ室に被害が及ぶところでした。

今後の地震や大雨により、更に状況が悪化することを懸念いたしまして、早期の事業実施を財産所有者である国、管理者である県に強く要望いたしましたところ、この度国の制度を活用した事業実施が決定いたしました。

土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業

土地改良事業の受益者負担金の軽減のため、
3年間償還利息相当額が助成されます。

《 事業実施地区 》

事業種別	地区名	助成総額（千円）	賦課金軽減総額（10ha当：円）
国営	山 王 海	111,935	関係市・町によって軽減
県営	水　　分	57,883	20,000
	水分第二	20,617	33,000
	赤石第一	60,113	27,000
	赤石第二	63,726	30,000
	紫波中央	27,685	23,000
	上 平 沢	24,631	18,000
計		366,590	

※平成21年度助成金は3月末の入金となりましたので、
平成24年度以降の負担軽減に充当いたします。

農地有効利用支援整備事業

農業生産基盤の簡易な整備として、農業用用排水路整備、
農業用水ポンプの更新等を実施しました。

《 事業実施地区 》

地区名	工　事　内　容	事業費（千円）
八 幡 1 区	農業用水中ポンプ、逆止弁更新及び電動弁整備 一式	1,932
八 幡 2 区	農業用用排水路整備　L＝168.5m	1,890
石鳥谷9区	農業用用排水路整備　L＝52.0m	1,155
石鳥谷11区	農業用用排水路整備　L＝78.0m	1,764
石鳥谷12区	農業用水門整備　一式	1,743
石鳥谷14区	農業用用排水路整備　L＝77.0m	1,218
京 田 地 区	農業用排水路整備　L＝133.0m	1,575
油 田 地 区	農業用水中ポンプ更新　一式	1,260
野 沢 地 区	農業用水中ポンプの電動弁、逆止弁更新 一式	1,722
	計	14,259

※事業費の負担区分は、国が50%、地元負担50%です。地元負担分について、花巻市（管内地区へ）から25%、紫波町（管内地区へ）10%の助成をいただいております。

【石鳥谷11区】

平成22年度　水門、水路監視人

適正な配水管理と水利・水路状況報告等にあたらせるため、水門、水路監視人を配置いたします。

（雇用期間：平成22年４月20日～同年８月20日）

区　分	施設名	監　視　区　域
第１区	水　門	稲荷頭首工～分水槽～稲荷小分水
第２区	南幹線	弥勒地分水～大沢分水
第３区	葛丸幹線	葛丸頭首工～開拓分水～大瀬川分水 葛丸一の留～小屋場分水
第４区	南幹線	大瀬川分水～上台分水槽、石仏頭首工
第５区	北幹線	北幹線分水～滝花分水
第６区	稲荷幹線	配水槽１号～５号、沢内川取入～両互
第７区	中央幹線	中央頭首工～赤石分水

特別会計「水分県ぽ地区」の償還について

昭和57年度より償還が開始されました同地区において、地区の推進協議会が中心となって最終償還方法の確認がなされ、平成22年度より年度事業工区毎の償還方法になりました。

これに伴い、賦課反当金額、最終償還年度が変わります。

尚、平成22、23年度は土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業助成金により、賦課反当金額は同額となります。

【最終償還年度】

事業施工年度	工区名	最終償還年度
昭和56	上松本	平成24
57	焼野・吉水	25
58	吉水・岩清水	26
59	上松本	27
60	宮手	28
61	小黒沢	29
62	南伝法寺	30

土地改良区の異動

【退職】（平成二十二年三月三十一日付け）

事務局長　**小田中雅則**
昭和五十二年四月一日奉職以来
三十三年間

会計係長　**畑山チエ子**
昭和五十四年四月一日奉職以来
三十一年間

長い間大変ご苦労様でした。
今後のご活躍をお祈りいたします。

【異動】（平成二十二年四月一日付け）

◎事務局長
阿部　清人（管理課長）

◎管理課長
浅沼　有朋（庶務係長）

◎庶務係長
柏原　一弘（企画係長）

◎賦課徴収係長
鷹觜　孝好（ダム管理係長）

◎会計係長
浅沼八重子（賦課徴収係長）

◎ダム管理係長
熊谷　光浩（ダム管理係技師）

◎庶務係（会計係兼務）技師
菅原　和仁（賦課徴収係技師）

新採用職員紹介

◎庶務係雇

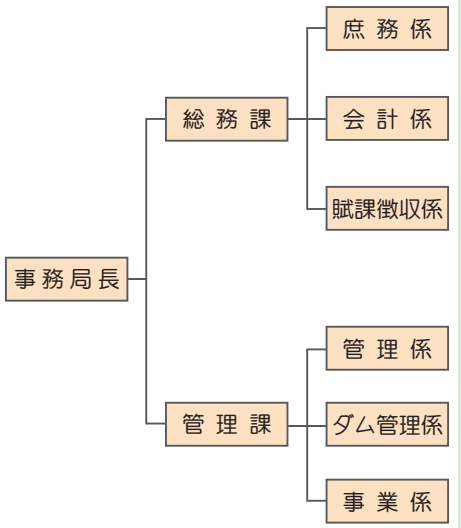
畑山真奈美
（紫波町犬渕）

◎ダム管理係（管理係兼務）技術雇

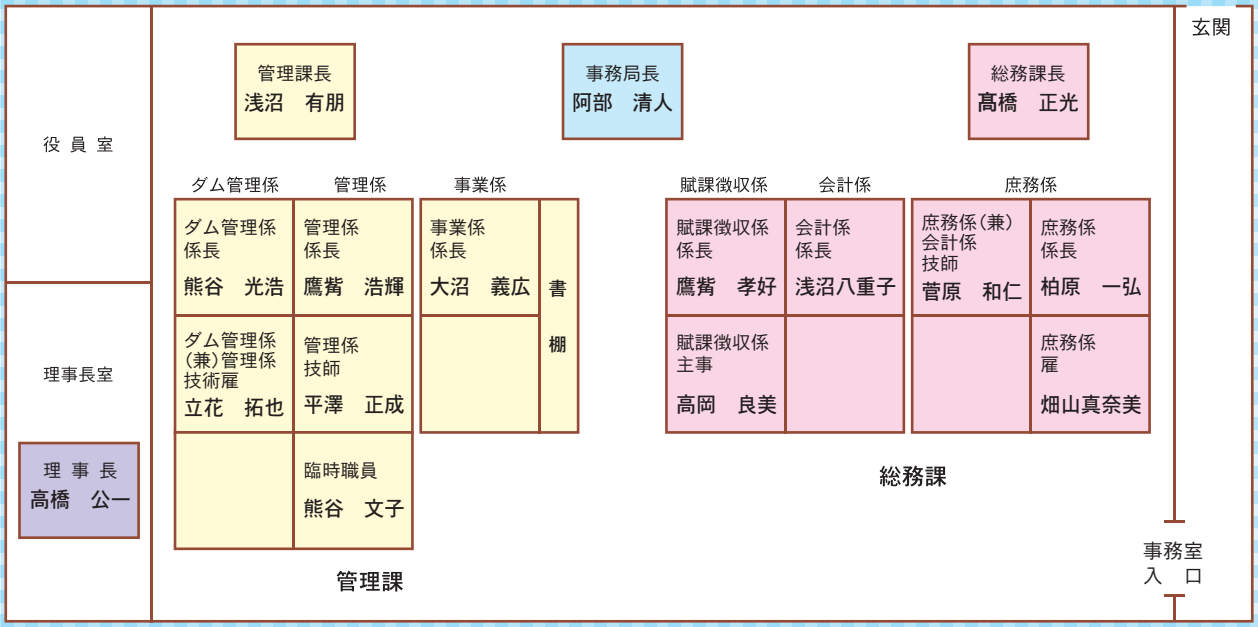
立花　拓也
（紫波町宮手）

山王海土地改良区 事務局機構

総務課企画係を廃止し、総務課庶務係にその分掌事務を移行いたしました。



山王海土地改良区 職員配置図



発　行　者

水土里ネット山王海
山王海土地改良区

〒028-3441 岩手県紫波郡紫波町上平沢字川原田15番地
TEL:019-673-7311 FAX:019-673-7360
ホームページ：http://www.sannoukai.jp
メール：heian@sannoukai.jp

編集後記

なんと十一年ぶりに、新採用職員が二名配属になりました。どうかよろしくお願いします。

私が採用になった二十年前は、二十三名の職員と四名の臨時職員で仕事をしておりましたが、国営事業、県営ほ場整備事業の完工と共に、退職者の補充を控えて減員となり、現在では十四名の職員で業務にあたっております。

職員数が減りましても、組合員の皆様にご不便をお掛けしないよう職員一同頑張って参ります。

（K）